

ほんべつ 議会だより

No.98

令和3年8月1日発行



目指せ 未来のオリンピック選手

各スポーツ少年団

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索



第2回 定例会

新型コロナウイルスワクチン
接種の関連補正予算等を可決

令和3年第2回定例会は6月8日に開会し、各会計補正予算、条例改正などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

新型コロナウイルスワクチン
接種の休日対応

問 土・日曜日のワクチン接種について協議はされているのか。

答 医療体制の充実した平日での接種としていきます。仕事をされている方についても、企業の協力をいただきながら業務に支障のないよう、平日の接種に協力をいただいています。今後の予約率や接種が進まない事などがあれば、医療機関とも協議しながら検討します。



順調に進むワクチン接種

本別町中小企業等休業
協力・感染リスク低減
支援金

営業時間や酒類提供時間の短縮等に取り組み、北海道の緊急事態措置協力支援金（飲食店等）の支給者を対象に、10万円を上乗せ支給します。

問 5月16日から31日までの緊急事態宣言が6月20日まで延長となったが、町の支援金は5月分のみ上乗せになるのか。

また、道の支援金が支給決定となった場合に対し、上乗せを行うのか。

答 申請は5月分について受け付けを行います。6月分についてはまだ道から示されていないので、状況を見ながら必要な措置、予算提案を行っていきたいと考えています。申請者の負担軽減のため、道からの支給決定通知を提示いただき、町での上乗せ支給を考えています。

議員 発議

◎6月17日定例会

議員報酬の減額支給に
関する条例制定

長期化し、国難ともいえるコロナ禍において、本別町にて感染症予防対策を講じるための財源確保を。

- ・議員報酬の額 20%減額
 - ・減額期間 令和3年7月1日から令和4年3月31日まで
- 提出者：梅村智秀

本件に、反対者の討論

柏崎議員・阿保議員
本提案は議員全体の議論がされずに発議され、唐突ではないか。
議員の仕事は報酬を減らすことが第一ではなく、政策提案をしていくことが重要である。

採決の結果

賛成者1人
反対者10人



5月12日から教育委員会教育長になる

佐々木 基 裕 氏

の任命（再任）に「全会一致で同意」しました。

※なお、佐々木教育長は一身上の都合で7月7日付で辞職されています。

答

給付者は合計33名となりました。

問

給付者の総人数は。

国の特別定額給付金の基準日であった、令和2年4月27日の翌日以降から令和3年4月1日までに生まれた新生児に対して、10万円を町独自で給付するものです。

新生児臨時給付金

一般会計補正

第2回臨時会
開催日 4月27日

令和3年度各会計補正予算

会 計	補正額	(補正後の額)	主な内容
一 般 会 計	1億3,604万1千円	(69億687万2千円)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などによる増 (臨時会) 64歳以下のワクチン接種実施に向けた事業費の増、いきいき商品券事業拡大による増 (定例会)
特 別 会 計	国民健康保険	△553万3千円 (10億8,452万7千円)	人事異動による人件費の減 (定例会)
	介護保険事業	△655万2千円 (10億4,666万8千円)	人事異動等による人件費の減 (定例会)
	介護サービス事業	△248万8千円 (3億7,122万9千円)	人事異動に伴う勤務体制等の変更による人件費の減 (定例会)
	簡易水道	197万7千円 (1億1,063万9千円)	人事異動による人件費の増 (定例会)
	公共下水道	3,330万4千円 (5億3,825万4千円)	終末処理場機器の故障による修繕料及び機器更新による増額 (定例会)
水道事業会計	△530万4千円 (2億3,014万6千円)	人事異動による人件費の減 (定例会)	
病院事業会計	1,141万円 (13億3,053万1千円)	感染対策備品の購入及び企業債の繰り上げ償還による経費の増 (定例会)	

※第2回臨時会（4月27日開催）含む

梅村議員を除名処分

4月27日の臨時会で、梅村議員に対して除名処分を科しましたので、その経緯についてお知らせします。

○令和3年3月22日
(3月定例会)

懲罰動議の提出

提出者：藤田議員
阿保議員

本会議で議決された陳謝文の朗読について、議長の名に従わず、陳謝文の朗読を拒否したことを理由に懲罰動議を提出

○令和3年4月16日

懲罰特別委員会の開催（大住委員長）

審査の結果：議会の議決事項を反故したことは、議会の秩序、品位を低下させる行為であり、委員会で弁明の機会を与えるも出席せずに意思表示を行わなかったことは、懲罰内容に反論がないものと捉え**懲罰を科すことに決定**
「地方自治法第134条及び本別町議会会議規則第113条 違反」

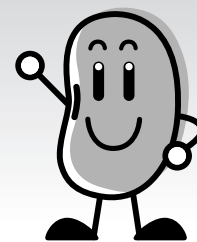
懲罰の種類：これまでの行動歴を鑑み、公開の議場における陳謝や一定期間の出席停止の処分としたとしても、その後の改善に期待されない。議員として著しく資質を欠いていると判断し、最も重たい処分に当たる**「除名」が妥当**

○令和3年4月27日
(4月臨時会)

梅村議員を除名処分とする懲罰特別委員会の委員長報告について、記名投票の結果、**全員賛成で可決**



その後、梅村議員は北海道に処分の妥当性について審査申し立てを行っており、現在審査中となっております。また、除名処分の執行停止の申し立ても同時に行い、道より審査の結果が出るまでの間、除名処分の執行を停止するとの通知があり、令和3年6月11日から議員活動を再開しております。



どうなったべ？ その質問

未来を担う子どもの環境づくりに体制強化を

質問

未来を担う子どもの環境づくりには、保育と教育の融合・充実を目指し、協働体制の強化が必要です。子ども未来課在籍の英語指導員の学校派遣の考えは。

答弁

子ども未来課と教育委員会が横断的に連携しており、英語指導員の活用について相談し進めます。

【令和2年6月定例会：水谷令子議員】

※議会だより94号に掲載

その後

小学1・2年生も英語に触れあっています

令和3年6月から小学1・2年生を対象に、英語指導員を派遣し教育課程外活動（放課後の時間）で月1回英語にふれあう活動を実施しています。

歌や絵本などを使った、英語を身近に感じてもらえるような内容で、こども園等での「こども英語チャレンジ事業」と合わせ、小学3年生からの英語授業への切れ目のない英語教育を行っています。



サマラ先生と英語にふれあう小学生

議会のホームページでは定例会・臨時会の会議録や過去の議会だよりなどを閲覧することができます。



本別町議会

検索 

追跡

平成30年より始まった一般質問追跡コーナーも今年で4回目。議員が行った一般質問が、その後の町政にどのように反映されたのか、お知らせします。

新生児聴覚検査を公費負担で

質問 ほとんどが出産後3日以内に行われている新生児聴覚検査は、公費負担のある地域で96.6%と高い受検率です。本町でも全額負担で、すべての子どもが受けられるように勤めるべき。

答弁 検査費用を助成する自治体が129市町村になっています。助成額の検討など体制整備をし、要望を踏まえ協議をします。

【令和2年6月定例会：藤田直美議員】
※議会だより94号に掲載

その後 初回検査費用を全額助成しています

令和2年10月1日以降に生まれた新生児に対して行う聴覚検査の初回検査にかかる費用を全額町が負担しています。十勝管外で出産されて、検査を受ける場合も対象となります。



今後も改善が求められる仮眠室

消防署の環境整備は急務

質問 消防署内の仮眠室が個室となっていないが、コロナ禍において、密を避けるため仮眠室の個室整備が急務である。

答弁 新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、仮眠室の対応は急務と考えており、現状できる対応を現場と協議中であります。

【令和2年9月定例会：梅村智秀議員】
※議会だより95号に掲載

その後 部屋を間仕切りし感染予防を行いました

部屋を間仕切るためのカーテンレール4カ所と換気をよくするために網戸を設置、換気機能付きエアコン1台を導入して感染予防対策を行いました。

一般質問

4人の議員から5問



教育・暮らし

学校の普通教室や災害避難所にもエアコン設置を

答 より快適な施設運営をしていく努力をします



藤田直美議員

藤田議員 学校環境の向上や防災の観点から、設置に向けて早急に取り組むべきです。

①1日の大半を過ごす普通教室は全ての児童生徒に公平な学習環境ではありません。昨年の答弁では、コロナ対策として設置の考えはない。次年度以降、学校の最適な環境のために検討すると答弁されましたが、その後の検討内容は。

②避難所におけるエアコン設置の考えと、コロナ禍によりパーテーションで区



真夏の教室を最適に

高橋町長 ②避難所への設置は考えていません。移動式パーテーションの活用と、氷で脇や首を冷やし熱中症対策をしていきます。より快適な施設運営をする努力をします。

切られた避難所の熱中症対策は。福祉避難所でもある健康管理センターは子どもの検診や多くの町民の健康相談窓口にもなっており、必要ではないか。

佐々木教育長 ①学校施設環境改善交付金の活用を視野に再度検討を進めています。最適な学習環境のため、長期休業中の変更など幅広い見地から検討・実施します。



行政

コロナ禍で影響を受けたところに早急な支援を

答 町独自の財政出動も行いながら対応します



柏崎秀行議員

柏崎議員 コロナウイルスの感染拡大は一年を過ぎ、なお収束のめどが立っておりません。ワクチン接種も進み、一日でも早く通常の生活に戻ることを願うばかりです。緊急事態宣言で国や道から営業の制限がかかり、売上げの減少が深刻な問題となっています。今後の本町の支援について伺います。

①営業の自粛・休業が要請された飲食店はもちろんですが、それに付随する業種や大きな影響を受けた企業に早急な支援が必要と考えますが見解を伺います。
②ワクチンの接種が進み、



飲食店への支援は行われたが…

経済の回復・町の活性化につながる取り組みが必要と考えますが見解を伺います。

高橋町長 ①大きな影響を受けた事業者には早急な支援が必要との認識の下、必要に応じて町独自の財政出動も行いながら対応します。
②安心して外出できる日常を取り戻せた時には、地域経済の発展拡大を目指し、その後、安定化のための支援施策事業に取り組む考えです。

なぜコロナ禍の下、町長は道外出張に

答 友好都市から招待いただいたので出席しました



大住啓一議員

大住議員 新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言の中、町長が徳島県小松島市に出張に至った経緯と考え方は。また、町民の方々にとって最大の関心事であるワクチン接種について伺います。

① コロナ禍の下、なぜ徳島県に出張したのか。また、公人たる町長として、ワクチンを接種しているのか伺います。接種していないとすれば、友好都市の式典出

席に万全を期すため接種するべきでは。

② ワクチンの接種会場の総合ケアセンターの土足禁止の解除や、今後の接種方法として、若い人達の接種、土日祝日や夜間接種の考えは。

高橋町長 ① 小松島市記念式典に招待いただいたので、友好の絆をさらに深めるべく出席しました。ワクチン接種については答える必要はないと思います。医師と相談して接種日を決めます。

② 土足による衛生面、転倒の危険性を考え、土足禁止の解除は考えていません。休日夜間ではなく、医療体制が取れる平日に接種を行います。



税の不適切処理・横領事件の顛末について

答 損害賠償額の請求を行っていきます

てんまつ

大住議員 事件は、平成28年6月議会で明らかに成り、役場に対して家宅捜索が行われ、刑事事件の被害額約230万円、その後の調査で約270万円の合計500万円のうち、未回収と今後の対応について伺います。

① 返済されていない約270万円はどの様になっているのか。

② 被害額約500万円のうち、いまだ返済されていない約270万円ですが、元職員との話し合い、さらには、民事裁判の成り行きにより回収不能となった場合、その責任は行政のトップにあると思いますが、考え方は。

高橋町長 ① 民事裁判の判決内容は、損害賠償額と遅延損害金、訴訟費用は被告の負担とするものです。これにより、損害額274万493円については、元職員に対して損害賠償額の請求を行っていきます。

② 今後、弁護士と協議をしながら、損害賠償額の請求を行っていきますが、回収不能の事態を起さないように努め、役場に対する信頼回復に努めます。

行政の信頼回復に期待



暮らし

ジェンダー平等に積極的な取り組みを
答 職員個々が理解を深めながら研修会等を実施したい



阿保静夫議員

ジェンダーとは…

ジェンダーとは、体の特徴など生物学的な性差ではなく、男らしさ、女らしさといった社会性、文化性につくられた性差を指します。例えば家事や育児は女性の仕事、力仕事と言えば男性などと役割の違いによって生まれる性別です。



ものごとく博士

阿保議員 「ジェンダーギャップ指数2021」で、日本は156カ国中120位とジェンダー平等では後進国となっています。国は地方自治体に対し、男女共同参画推進計画の策定に努めるよう求めています。令和2年度末で道内43、管内5の自治体が推進計画を策定しています。

本町においてもジェンダー平等に積極的な取り組みを進めるべきと考えます。

①町として研修会等の取り組みについて見解を伺います
②教育現場において、子どもたちとともに考えていくことも重要と思いますが、見解

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



男女平等を実現し、全ての女性および女児の能力を伸ばし可能性を広げよう

を伺います。

高橋町長 ①まちづくりを推進する上で、職員個々がジェンダー平等に理解を深めながら必要な研修会等を実施していきたいと思えます。

佐々木教育長 ②教職員の研修の機会の充実を図り、きめ細かな人権教育を推進していきたいと考えます。

コロナ対策のさらなる充実を求める要望書を提出

議会では、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、国や道からの町民への支援策が必ずしも十分とは言えない状況と捉え、町独自による対策のさらなる充実を求め、6月16日に町長へ要望書を提出しました。要望書の内容は次のとおりです。

- 1 農業・商業・工業等、すべての事業者及び従業者のニーズを的確に把握し、支援策を講じること。
- 2 コロナ禍において影響を受けている低所得者等への支援を講じること。
- 3 児童・生徒の学習環境の向上のための支援を講じること。
- 4 順調に進められているワクチン接種について、希望するすべての人が接種をより受けやすい環境を構築すること。



意見書

第2回定例会では意見書が3件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

教育の機会均等を担保するため、義務教育費国庫負担制度堅持と負担率1/2への復元をする。

また、子どもたちへのきめ細やかな教育を実現するため、30人以下学級の早期実現に向けて学級編制標準を改定し、住む地域に関係ない教育を保障すること。

さらに、給食費など保護者負担の解消や、就学援助制度等のさらなる拡大に向け、国の責任において予算確保を図ること。

提出者

黒山 久男



地方財政の充実・強化に関する意見書

新型コロナウイルスにより、いま地方自治体にはワクチン接種体制の構築など新たに多くの行政需要が発生しています。それと同時に、医療・介護など社会保障への対応等行政サービスに対する需要も、これまで以上に高まりつつあります。

政府の地方財政の検討にあたっては、コロナ禍による新たな行政需要を把握しながら、財政の確立を目指すよう求めます。

提出者

方川 一郎



林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

森林資源の循環利用を通じて、林業・木材産業の成長産業化を実現するため、道産木材の販路拡大や森林づくりを担う人材の育成などに必要な支援の充実・強化を。

提出者

山西 一三夫



議会用語の解説

《秘密会》

議会の会議や委員会には公開が原則ですが、その例外としてあるのが秘密会です。

秘密会とは、地方公共団体の秘密に属する事項、議員又は住民の一人上に関する事件に関わる審議の場合等により発議され、議会の会議は出席議員の3分の2以上、委員会では2分の1以上の多数で議決したとき開催できます。

秘密会は議事の記録はとりませんが、記録については公表されず、秘密会の議事は何人も秘密性の継続する限り他に漏らしてはなりません。秘密事項について議員及び職員は、厳守しなければならぬ義務が課せられます。本別町議会では、近年、懲罰特別委員会などで秘密会による会議が開催されました。

議長との対話室を行っています

開設日：平日
時間：午前10時～正午
午後1時30分～午後4時

※上記以外の曜日・時間帯でも、希望があれば相談に応じます。
※1週間程度前にご連絡ください。

申し込み及び問い合わせ先：
議会事務局 ☎22-8123

写真で見る議員活動

議員倫理について研修会を開催しました

6/24



職員のコンプライアンス研修に合わせて、議員会主催で研修会を開催し、地方議会議員の倫理、参考規定などについて事例を交えて学びました。

委員会レポート

総務 常任委員会

**公共施設の管理状況と今後のあり方
財産の取得及び処分、契約方法と実態について**
調査日／令和3年4月23日

公共施設の管理については、本別町公共施設等総合管理計画などを策定し、中長期的な管理・運営の目標を設定しています。

町が保有する公共施設は180施設574棟、町道約466km、上水道約83km、下水道約54kmとなっています。

町が保有する施設等の多くは、かなりの年数を経過したものが多くて老朽化し、今後は維持管理・更新等に多額の費用が必要になることから、施設の売却など今後の公共施設のあり方を検討することとしています。

また、財産の取得及び処分については、公有財産の



長年放置されている静山研修センター

取得は基本的には国有地を取得しており、公有財産の売却（処分）は土地がほとんどで、対象者が限定される場合のみ行っています。

まとめ

本町には、築40年以上経過した施設が130カ所程度あるが、閉鎖中の建物は解体等の対応が必要であり、維持管理費等の負担を軽減する施策が必要です。

産業厚生 常任委員会

水道及び簡易水道事業の概要、今後の事業計画について
調査日／令和3年4月14日

水道事業は、人口減少に伴い、給水人口、給水戸数、配水量、有収水量、給水利益が年々減少し、経営を圧迫しています。

簡易水道事業は、給水人口が減少していますが、大規模酪農業の新規接続が相次いだため、有収水量、給水利益は上昇しています。ただ、料金体系が割安な営農用の使用が多いため、収益単価は水道事業に比べ低くなっています。

上水道の管路は耐用年数の40年を経過する敷設管が全体の40%を占める中、有収率は比較的高い状況であります。

経営状況は、料金改定等で収益を見込むが、機器類の減価償却や企業債償還のピークが過ぎる令和10年頃までは最低限必要な投資に

とどめ、計画的に進めなければなりません。

まとめ

今後は人口減少などによる給水規模が年々減少になることから、一般会計からの補助・繰り入れをしながら、町民に安定した給水事業が大事であると考えます。



安全な水の供給を（本別浄水場）

行政報告

第2回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

新型コロナウイルスのワクチン接種状況について

国の優先順位に従い、5月10日から「65歳以上の高齢者」、併せて施設内のクラスター対策として「高齢者施設等に従事する方」へのワクチン接種を開始し、7月中には接種を希望される高齢者の方々に対する2回目の接種を終える見込みとなっており、順調にワクチン接種が進んでおります。

6月4日現在の予約受付・ワクチン接種状況については、対象となります接種券を発行した高齢者2,864人に対し、2,426人、率にして84・7%の方の予約を受け付けており、1回目の接種を終えた高齢者は1,748人となり、61・0%の接種率となっております。また、施設従事者につきましても254人の方が1回目の接種を終了したところであります。

7月5日より「64歳以下の方」の接種を開始出来るよう取り組んでおり、ワクチンの種類は、高齢者の優先接種同様にファイザー社

製を予定し、2回目の接種完了を9月中旬と見込んでいます。

町民の皆さまへの周知は、広報本紙への掲載や広報折込により、情報提供を行ってまいります。

今後も、安全かつ円滑なワクチン接種に向け、引き続き、全力を傾注する所存であります。

第3セクター企業の経営状況について

本町が出資している第3セクター企業の経営状況は、昨年の前期第4四半期に新型コロナウイルス感染症の拡大が直撃し、業種によっては、緊急事態宣言発令による営業活動の制限で経営が行き詰まるなど、国内外の経済に大きな打撃を与えております。

株式会社本別システム総合研究所の令和2年度の経営状況であります。前期からの累積欠損金を背負ったの厳しい状況でのスタートとなりましたが、新型コロナウイルスの影響で、社会のデジタル化が進み、学



南4丁目にある第3セクター企業

校での校内無線LAN機器の整備、電子カルテシステム追加、庁内LANパソコン整備などの受注が相次ぎ、ウイルス感染対策ではテレワーク機器、オンライン会議機器、避難所用パーテーション等が特需として計上されました。

また、新型コロナウイルススワクチン接種事業に伴って接種会場用備品、健康管理システムの機能追加業務を受注し、今期の売上高は前年比28.5%増の5,792万円、経営利益は前年

比82.4%減の19万円となり、増収減益ながら2期連続の黒字決算で完了することができました。経済状況は、終息が見えない新型コロナウイルス感染症の影響もあり厳しい状況が予想されますが、競合に負けることなく、引き続き職員・協働会社一丸となり努力するとの方針であります。

議会のホームページで一般質問の通告内容が閲覧できます



**次の定例会は
10月5日開会
12日一般質問
を予定しています**

議 会 日 誌

〔 5 月 〕

- 12日 議会運営委員会、議員協議会
- 25日 議員協議会
- 27日 一部事務組合議会（帯広市）



- 16日 本会議（一般質問）、本別町林活議連総会
- 17日 本会議（議案審議）、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 24日 議員会議員研修会

〔 6 月 〕

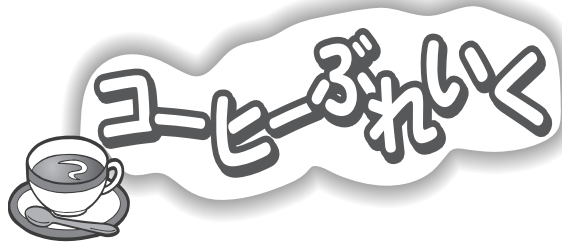
- 4日 議会運営委員会
- 8日 第2回定例会開会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会



〔 7 月 〕

- 1日 広報広聴常任委員会
- 12日 広報広聴常任委員会
- 16日 広報広聴常任委員会、一部事務組合議会（帯広市）
- 28日 第3回臨時会
- 30日 総務常任委員会所管事務調査





今回は、本別町地域おこし協力隊として活躍されている4人の隊員に議場でお話を伺いました。



小池 瑞希さん
(観光振興推進員)
宮城県出身

Q 本別町の印象は
小池 食に携わることをしてきたので、本別町の豆にすごくひかれており、気候もすごく好きです。宮城県出身なので南三陸町へ震災支援いただき、ご縁を感じています。
南部 子どもの頃気づかなかったのですが、Uターンして感じたのは、人が優しく、すごく住みやすいと思っています。



南部 真奈美さん
(観光振興推進員)
本別町出身

小宮 1月に本別に来て雪が積もっていきななく驚いたのを感じています。
吉田 おいしい飲食店が多い町だと思います。

Q 議会に対する印象などは

小池 庁舎で議員さんと挨拶をしたりして身近に感じるようになってきました。ただ、話している内容など少し距離を感じてしまうところもあります。
南部 帰省時に議会、だよりは読んでいました。庁舎内で議会放送が聞けるのはすごく良い事だと思います。
小宮 あまりなじみはないですが、議会で決まったことで仕事の内容に変化がありました。
吉田 議会放送を聞きますが、すごく難しいイメージがあります。



小宮 航一さん
(有害鳥獣駆除推進員)
東京都出身

Q 住んでみて感じたこの町にあったらいいものは
小池 東京に住み満員電車やビルに囲まれた中で仕事をしてきたので、青空や緑がある環境と人が優しいこの町は、自分の人生を豊かにしてくれてすごく好きです。
南部 他の町より十分揃っていると思っています。今後温泉も復活する話も聞いており、それで満足です。
小宮 今の状態ですごく満足しています。
吉田 温泉がなかったが復活するのを聞いたので、それで満足です。

Q 現在の取り組みは

小池 **南部** 町内飲食店のメニュー開発や商品開発のお手伝いを7月号の町広報で募集しています。協力隊4人の公式インスタグラムとフェイスブックを立ち上げ、活動報告や町のPRなども行う考えです。



吉田 哲登さん
(健康スポーツ推進員)
帯広市出身

小宮 今はハンターとして、わなや鉄砲による捕獲の技術をもう少し磨きたいです。
吉田 町のホームページで健康づくりなどの動画を配信していますが、幅広い年齢層の方に見てもらえるように試行錯誤しています。

Q 皆さんの趣味は

小池 道内179市町村全てを回り、ベストスポットを探りたいです。また、自然に触れる時間を大事にしています。
南部 料理やお菓子づくりが好きです。お笑い番組を見て笑うのが好きです。
小宮 映画や読書、狩猟が好きです。
吉田 温泉めぐりです。最近では料理の勉強をしています。

Q 最後に、今後の目標を

小池 町の皆さんが当たり前と思っていることが、私はずっとも新鮮で素敵な部分だと思っています。今後も新鮮な目標を忘れずに、町を発信していきたいです。



きたいです。
南部 町内でカフェを開店したいです。事業が安定してきたら若者も気軽に来て泊まれる交流の場としてゲストハウスを作りたいです。
小宮 本別町は基幹産業が農業であり、有害鳥獣駆除に対する需要が多いと思うので、今後も町内でハンターの活動を続けていきたいです。
吉田 サッカー少年団や部活動の指導でサッカー人口を増やし、現在休部中の本別高校サッカー部を復活させたいです。

今回のインタビューを通じて、議会が身近に感じたとの感想をいただきました。4人の若い力による今後の活躍を私たちも応援しています。